

【福祉体験学習事業】高齢者疑似体験学習を行いました

多久市社会福祉協議会では、今年度より新たな事業として【福祉体験学習事業】を始めたいです。

今回は、10月9日(火)東原庁舎中央校5年生を対象に、高齢者疑似体験学習を行いました。



80歳になったら
どんな変化がある
だろう??

いざ体験! まずは階段



階段の上り下りって
きつい。。



次は新聞を読んでみよう!



次はピースをつかんでみよう!



つかみにくい。
色がわかりにくい。



最後は洗濯物干し



低いところはいいけど、
高いところは届かな〜い!

生徒の皆さんは、2人1組でペアを作り、体験者と介助者になります。

「楽しそう」と体験を始めた子供たちでしたが、体験が始まると真剣に取り組み、体験が終わるころには、「動いてもすぐに休みたくなった」「疲れる」「視野が狭くなる」「高いところは届かなくて不便」など、たくさんの気づきがありました。

また、同時に「高齢者になると、長く歩くことは大変だなと思った」「座るところを譲ってあげたい」「細かい作業や、高いところの作業は手伝おうと思う」などの感想を発表してくれました。

体験をしたことで、年を重ねると起こる身体や心の変化について理解を深め、さらなる思いやりの心が芽生えたと思います。素晴らしいですね! ^^

本会では、子供たちのふくしの心で、温かな地域社会づくりに繋がることを願っております。